

まちかどウオッチング

赤十字奉仕団が金 佐呂間へ義援



訓子府町赤十字奉仕団（四十物小枝子委員長）が、佐呂間町竜巻被災者の方のためと、各種イベント会場などで義援金を集め、昨年12月6日に日本赤十字社訓子府分区、日赤北海道支部を通して12万6,352円を佐呂間町に送りました。

訓高生手縫いのぞうきんを寄贈 ご寄贈ありがとうございます

訓子府高校の生徒から昨年11月24日に、ぞうきん70枚が寄贈されました。同校の「ふれあい環境DAY」で生徒が縫ったもので、同日、環境委員長の毛房香奈子さんと副委員長の久積菜亜矢さんが教育委員会を訪れ、「小中学校で使ってください」と小野教育長に手渡しました。



まちかどウオッチング



古谷遥香さん スケートで 日韓交流事業へ

訓子府中学校2年の古谷遥香さんが、1月19日から韓国・ソウルなどで開かれる第5回日韓青少年冬季スポーツ交流事業に派遣されることになりました。

この事業は、2002年サッカーワールドカップ日韓大会開催を機に、幅広い年齢層を対象に各種スポーツ交流を図ろうと実施されています。

古谷さんは昨シーズン、全国中学校スピードスケート大会で、1年生ながら5位に入賞する活躍を見せ、今シーズンも飛躍が期待されています。

「交流事業でさらに自分をレベルアップさせたい」と話していました。

「ペタン、ペタン」もちつき楽しいな

「よいしょ、よいしょ」子どもたちがけんめいにもちつき。かわいかけ声が響きました。

もちつきは、くんねっぷ保育園が昨年12月7日（表紙写真）、訓子府幼稚園が8日、あさひ・ひので保育園が9日にそれぞれ行われました。

父母や商工会青年部などが手伝う中で、子どもたちは「ペタン、ペタン」と小さなきねを使ってもちつきをしました。子どもたちは、きなこもちなどをおいしそうに食べていました。



訓子府幼稚園



ひので保育園

あさひ保育園



かわいい演技に拍手 保育園合同ゆうぎ会

くんねっぷ・あさひ・ひのでの3保育園の合同ゆうぎ会が、昨年12月3日公民館で開かれました。遊戯やオペレッタなどで、子どもたちが着飾ってさまざまな役に挑戦。

会場には大勢の町民の方が訪れ、子どもたちのかわいい演技に拍手を送っていました。



約2000人出席し居小90周年を祝う



大正5年に居武士教授場として開校した、居武士小学校の開校90周年記念式典が、昨年11月26日同校体育館で在校生や卒業生、関係者など約2000人が出席して盛大に行われました。

式典では、歴代後援会長、歴代校長に感謝状が贈られたほか、全校児童46人が「未来を旅するハイモニー」を合唱し、節目を祝いました。

また式典終了後、祝賀会も開かれ、出席した方は、居小の新たな飛躍を願っていました。

まちの話題

くんねっぷ

再

発

見

シリーズ②

駒里に地震観測点、予知研究のデータに

駒里にある北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センターの観測点。昨年12月号で、微小地震を検知する地震計と地震予知のために地殻変動を観測する計器が設置されていることを紹介しました。

同センターの一柳昌義技官によると、この地殻変動を観測する計器は、「ひずみ計」と「傾斜計」が設置されているそうです。ひずみ計は、地面の伸びや縮みを計り、傾斜計は地面の傾斜を計るものです。

これら計器は、駒里に建てられている観測所内のトンネルの中にあります。「トンネルは岩盤の中に向かいY字型になっており、Yの両端と観測所入り口に向かい、ひずみ計、傾斜計を3セットずつ設置しています」（一柳さん）ということです。

同様の観測点は、太平洋沿岸と苫前町（留萌管内）、愛別町（上川管内）にあり、苫前町から訓子府町に向かって一直線になっています。また、駒里地区は岩盤が固くしつかりし、地震波が伝わりやすいことから、本町駒里に設置したそうです。

本町でのデータが大地震を予知する研究に活用され、予知が実現できるようになれば幸いですね。

